

令和6年11月10日意見交換会報告

総務文教常任委員会分科会

決算、予算、広報について

1. 11月広報に決算の内容が掲載されているので分科会前に報告があつて然るべき。
2. 委託料について去年までは全部事務報告書に示されていたが、今回から千万円以上に限定されている。なんで変わったか。議会はなぜ承認したか。

（議員から）執行部から説明はあった。議会でも異論があった。他市に合わせたとのこと。現状、異論のある議員もいるので今後精査していく。議会の承認というものがあつたわけではない。

3. 市長と語る会の未開催について議会だよりで報告されていたのは？

（議員から）議会だよりは執行部の回答を掲載したものである。

決算・予算特別委員会の時間や在り方について

1. 事務事業に対する評価が全然行われていない。
2. 4～5時間で300億円が決まる。
3. 数年前からは、三役は出なくていいようになった。

（議員から）ご意見として、今後の課題とする。

4. 広報には16億4,000万円の黒字と書いてあるが、監査委員の意見書には赤字と書いてある。決算特別委員会でもそういう指摘は一切なかった。

（議員から）実質収支と単年度収支の内訳の金額の表記が違うためと思われる。監査報告書に載っているのは事実。内訳として実質収支は16億円ある。単年度収支は赤字になっている。

5. 基金については市は70億円あると言っている。基金は条例に基づいて、項目ごとに張り付けてある。自由に使える財政調整基金も30億円しかない。前は30数億円あった。そういうことも議会は市に質問しない。

（議員から）財政調整基金は不測の事態のための貯えであり、これがなくなると天災等が起きた場合に何もできない。過去、太宰府市も平成の災害時に30億円あったものが出ていった。財政調整基金もガクッと落ちた。その後調べたら財政調整基金が30億円まで届かなくなってる状態で、今後、公共施設等を整備していくための財源も作らないといけな。福祉的要素の財源も作らないといけな。一番大事なのは災害時に一時金として出せる基礎体力を持つこと。ただ、20数億円だったのが近年30億円台に戻ってきている。やっと積み上がってきている状況。

6. 市長は東京に戻って自民党本部なりに行ってインフラ整備等についての道路特定財源、社会資本整備費について陳情すべき、国土交通省に行つて予算をもつてきてほしい。

意見交換会で出た意見等について

1. 前回意見交換会の中身を精査して市長にあげていると言われたがそれは出ているか？
2. 私たちが前回言ったことは、どこまで伝わっているのか？
3. どれだけ議会で取り上げて回答しているか？
4. 市長の意見もない。私たちが言ったこともどこまで揉んであるか。
5. 市長の回答はどうなっているの？

（議員から）各委員会等で共有、精査して最終的には HP に掲載している。市長には報告書を提出している。

防犯カメラの件

1. 去年議会で 23 基ついているという回答を聞いたが、その後どうなっているのか？
2. 防犯に対して危惧しているが、防犯カメラの設置は必須。
3. カメラは「ここにあるんですよ」という抑止力になる。県がしないから市もしないとかではない。
4. 折り畳み椅子を持っていかれた。抑止力としてカメラを設置していただきたい。

（議員から）広報に載っていた。県の予算でやっている。ご要望として今後の課題にする。

議会について

1. 傍聴席 51 席あるが、いつも数人くらいしか来ていない。
2. 議員と執行部の質疑応答があつてないような感じ。

歴スポ公園のグラウンドの芝生の件

1. 芝生がはがれている。復元を頼んでいる。誰がしたのか？いつごろからそうなっているのか？警察に相談したら、被害届を出すように言われたがスポーツ課は未だ出さない。

（議員から）それぞれの議員も認識している。委員会でも考えていく。

本日の意見交換アンケートの性別欄について

1. アンケートに性別を書くようになっている。昨今、問題があるので検討してほしい。

高齢者の選挙について

1. 高齢者は足が不自由だったりして投票所まで行けない。子どもは遠くにいる。そういう方は投票できない。そういう方への取組みを是非してほしい。

（議員から）委員会としても考えていく。

不登校児童生徒について

1. 中学校の不登校、自分たちは学校に行きたいけど親が「学校に行かなくていい」と言うケースがある。背景はいじめや学力。そういう子どもを集めて夏休みに勉強を教えられるよう、子ども食堂でも学校などとの連携が取れたらと思う。

（議員から）今年度から生活支援課との連携により支援員や相談員が食堂を回るシステムが始まっている。

議会の時間外の開催の検討について

1. 議会を時間外にしてほしいが、検討されているか？投票率にも響く。
2. 中学生高校生も参加すれば政治的な考えもできてくる。年間4回議会あるうちの一回でもしてほしい。選挙への関心に繋がる。

（議員から）夜間議会・休日議会については今後の課題・要望とする。

一般質問予備日に関して

1. 予備日があるのに使われていない。不要ではないか。

（議員から）災害等、何かあるときのために予備日は必要。

駐在所について

1. 駐在所が少ないし分からない。観光客も駐在所の場所が分からない。通りに出すとかしないといけない。警察は実際、そこに行ってもいない。

（議員から）県の組織としてそういう体制で通報受けたら直ぐ本署で対応するということになっているが、時間的なものがある。天満宮参道の駐在所は新しくなった。事件が

増えているから抑止力的なものとして必要。地域でも回ってもらったり青パト等も検討が必要。

市民一斉避難訓練について

1. 前回とは違い最終的に小学校に行かないといけない動きになった。公民館だけだったのが、なぜ小学校まで行かないといけないのか？市が決めて自治会に下ろされたようで、説明を受けてない。ほとんどの自治会は公民館だけで終わる。なぜ国分だけがこのような動きなのか。地域での防災計画書が出されていないのか？
2. 防災安全課からも詳しい説明はない。やり方について執行部が細かいを対応してない。
3. 国分小学校区について、水城ヶ丘は坂の上にある。坂を下りて何人が水城ヶ丘から集まるか？住民の話を聞いて決めてほしい。
4. 地域の特性がバラバラで集約されていない。地域ごとに弾力的にやらないといけない。
5. 公民館に行っても何もできない状況。自分の家にいた方がいい。やってる感だけでは仕方ない。市議会で工夫されたのか？
6. 前は歴史公園に行って「チェックする人がいるから名前を書いてください」と指示があり、そこへ行ったが、わかりづらかった。みんなでやってみて、行動パターンとか決めてから通達して、こういう方法でやりましょうと周知すべき。

（議員から）市が中心となって各自治会の意向も汲んでやっている。

通学時の暑さ対策について

1. 水城ヶ丘から国分小学校まで1年生だったら通学に1時間近くかかる。以前は水城三差路に東屋があった。そこで小休憩できた。しかし、東屋がなくなってそういう場所がなく、猛暑の中、休憩もできず帰ってくる。子どもや観光客が休める場所が欲しい。

（議員から）水城館をクーリングシェルターとして利用できるようになった。飲料も飲める。

まほろば号の乗り継ぎについて

1. 水城ヶ丘から市役所まで直通だったのが、今は都府楼前駅で乗り換えないといけない。乗り継ぎがうまくいかない。直通のバスを復活させてほしい。

（議員から）協議会にてまほろば号・西鉄バスの利用についても検討されている。その中でも意見が出ていると思う。もともとコミュニティバスは市内を網羅するような形

で走らせていた。しかし、渋滞に対応するためエリアで分けるやり方になった。4 地域に分けてハブ方式をとっている。渋滞の緩和は進んだと思うが、充足しているかという
とまた別問題と思われる。利用者も増えていない。財政的にも厳しい。今検討されているのがデマンド交通の実証実験。

歌うま選手権の実施継続に関して

1. 3 月に参加して市長賞をもらった。凄く盛り上がった。来年もやってほしい。

（議員から）歌うま選手権の次回開催は未定ではあるが今回の大会を市長はかなり称賛されていた。また、高齢者にとって歌を歌うことは健康に良い。動向を見ていきたい。

ホワイエライブについて

1. 出演者は無償で出ている。せめてワンコイン、有料にしたらいいと思う。ミュージシャンを称える意味でも、せめて交通費が出るくらいにはしていいんじゃないか。

太宰府の将来像・まちづくりに関して

1. 太宰府の将来像が見えてこない。市議会に「まちづくり」の特別委員会を設置してもらいたい。
2. 日本は少子高齢化が進んでいる。2070 年には1 億 2,000 万が6,000 万になる。太宰府市も 20 年後には7 万人を切ると想定されている 税収も厳しくなる。是非、将来を見据えた議論をしていただきたい。
3. コンパクトシティが進んでいる。太宰府だったら五条地区をメインに再開発するべきだ。また、地方自治体の人口は 20 万人くらいが丁度いいという専門家の意見がある。それを踏まえ、筑紫野市との合併を考慮していただきたい。
4. 西鉄二日市駅を太宰府駅にして、太宰府駅を太宰府天満宮駅にして高架線にしていくべきだ。地下がいいという意見もある。
5. 西鉄大牟田線に国分駅、向佐野に J R 太宰府駅という話が寸前まで話が上がっていたのに断ち切れている。J R の駅に太宰府の名前がない。地元の人は国分駅ができれば、天満宮にも行きやすい。ぜひ検討してほしい。

（議員から）「まちづくり」特別委員会をよその自治体でやっている所もある。

人口減少等は喫緊の課題でもあるので、議会としてしっかり取り組む必要がある。

だざいふ都おどりの普及について

1. 文化協会は太宰府市にとって大切なもの。政庁まつりで披露した「だざいふ都おど

り」を市民に広めたい。何人かの市議さんもそれに加わるという気持ちがあると良い。

総合体育館の指定管理に関して

1. 情報公開請求で5年間の指定管理の協定書を求めたら年度協定書を出してきている。本協定をしたら告示が必要だが、告示文書はなかった。本協定していないのか。指定管理の募集要項とは、こういう条件で指定管理しますよというもの。そこには「指定管理の指定手続きについて、指定管理者の候補者との指定選定後、速やかに指定管理に関する仮協定を締結、12月議会の議決を経て指定管理者とし、基本協定を締結します」とある。基本協定については金額が決まってないときはまだ仮協定でいいですよ、そのあとに決裁をもらってそのあとに本協定を結ぶというもの。いつまで結んでいいかということは、4月1日に年度の金額を執行する、施工する前にやっておけばいい。しかし当時の3月議会で仮協定してない。候補者としての選定通知をあげて、管理者として指定してないのに何でできるのか？協定書見たら5年間の予定は書いてない。議員にとってもなかなか難しい話と思う。その前段だが委員会の時に当時の委員長は「仮協定は結ばれてなかった。驚いた。」と言っている。それだけでいいのか？行政が嘘言ったって、議会は何でも通すのか？

（議員から）指定管理については、総合体育館だけじゃなくて他にもある。様々なことに同じようなことが行われているという視点をもって、私たちも見ている。これから報告など頂きながら、私たちもそういう目で考えていく。

性教育や子どもの福祉について

1. 高校生の妊娠、出産の事例がある。小中学生のときから性に興味を持つ。性犯罪ではないが子どもを産んでそのままその子どもは施設に行く。性に関する勉強がなされておらず、子どもを多く産んでいる方がいる。「子ども食堂に行きたくないから食料を分けてくれ」と親から言われたと子ども食堂の相談員から話がある。最初の教育が出来てない。小中から高校に上がるときの性関係のいろんな犯罪が増えている。
2. 学校に行きたくない子どもが増えている。福祉関係の補助がある。別に働かなくてもお金がもらえるという状況を作っている。「これこれこういうことをしないことであと2万円多くもらえる」とかいう会話をされているのを聞く。
3. 子ども食堂には学校の先生もいる。その先生はボランティアで子どもを見に来る。先生の教え方や見守り方は子ども食堂とは違う。先生たちは疲れているかもしれないが、そういう先生が学校との違いを見るのは大事なことと思う。高校の先生たちは食べられない子とかを見に来てくれる。小学校の先生は見に来てくれない。小学校の先生方も見学に来てもらうといい。

（議員から）子ども食堂の在り方について学校の先生、行政の連携がもっと必要で進化

していかないといけない。

4. 昔は性教育について頑張って指導した。教員は忙しくて大変。教員数が絶対足りない。教えても分からない子は置いてきぼり。タブレット教育も教員が付いていけるか？外国とは違う。日本は教育にお金をかけない。教育がいかに関を育てるのに大事か。

（議員から）性教育の現状を確認したい。土曜日も登校していた時の授業時数と土曜日が休みになった後の授業時数は変わらない。授業時数確保で、放課後の時間もない。仕事も増える。年間 6,000 人が退職うつ病。国に意見をあげると同時に太宰府市として子どもとの関わりを重視したい。放課後の時間が確保できるような教育改革をやってもらうようにしたい。不登校児童生徒がいても家庭訪問しない先生が増えている。それじゃいけないというのを訴えていきたい。不登校問題は委員会でも考えていきたい。サポートルームが各学校にできた。そこが、運用されることで環境が変わればいいと思う。

学校の生徒数について

1. 生徒数、最大で何人くらいがいいと思われるか？

今後の市議会への相談体制について

1. 相談するときはどうにしたらいいか？窓口はどこか？

（議員から）事務局に連絡してください。

学童保育の環境改善について

1. 学童スタッフの方々に、分かりやすい指針や現実的な運用方法（体罰、懲罰は禁止など）、課題解決のツールや機関を設けてほしい。
2. 学校側との連携体制、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の相談窓口を作ってほしい。例えば、保護者側も直接学童スタッフに相談しにくい場合にスクールソーシャルワーカー等が相談する窓口になる等。

教育、保育で有用と思われる資格取得について

1. 試験費用を市からの補助や取得した場合奨励金を出す等で、現場の方々のモチベーションも上がり、運用にも活かされるのではないかな。

環境厚生常任委員会分科会

敬老会への市からの補助金について

1. 敬老お祝い金を自治会に加入していない該当者に対し自治会長が配布しないとした自治会があった。敬老事業補助金は自治体からのお祝い金と考えるべきで、自治会長による補助金申請の有無により判断できるはずがないと考えている。祝い金の本質は市から該当者へのお祝いであり、自治会が判断できる筋合いのものではない。担当課長に問い合わせたところ、自治会には敬老事業執行につき裁量権があり、市のほうには執行の有無につき口をさしはさむことはできないとのことだが、市からの委託事業にできないのか。

社会福祉協議会の予算について

1. 市の財政収支が改善しているとの広報案内にも関わらず、高齢者サービスを提供している社会福祉協議会の予算を減額していることに納得できない。
（議員から）福祉分野に関しては要望を上げていきたい。

地域介護予防活動支援事業補助金の上限設定について疑問

1. 市は高齢者の介護予防に資する活動に補助金を出しているが、令和7年度から団体個別の申請から自治会単位の申請とし、上限を24万円にするとのこと。これについては、一昨年説明会が行われている。地域の高齢者を支える活動は需要が増え、24万円に抑え込まれると、補助金を原資にしている活動が委縮する。市長は黒字の財政報告を出しているが、高齢者への配慮が足りない。

入院身元保証人について

1. 病院では身元保証人がいないと入院させてくれない。身元保証人を示せない私ども高齢者の入院は頓挫する。他の自治体では、自治体が身元保証という制度を設けているとも聞くが、太宰府市でも高齢者の入院について支援制度を作してほしい。
（議員から）県など広域で行う内容なので、調査をしていきたい。

ファミリー・サポート事業に対する支援について

1. 本事業は、幼児を抱える家庭に対し保育所への送り迎え、預かっての見守りなど、サポート事業を展開している。サポートしてくださる方（おたすけ会員）の託児預かりは1時間600円と格安の基準なので経費が別途必要。現実には事業主体が手出しをして事業を支えている。サポートを望まれる家庭の需要に応えるために、市から助成をしてほしい。

障害者、高齢者の受付窓口の充実について

1. 障害者の家族が本人に代わり、障害手帳や介護サービスにつき申請をするが、窓口で手続きがスムーズに運んでいない。申請者に対し、すべての流れを把握した職員の窓口対応をお願いしたい。
（議員から）市役所1階窓口で相談しやすいレイアウト等を考える必要がある。

歴史スポーツ公園の使用規則について

1. 公園の使用時間は、有料公園施設管理運営規則で3時間と明記している。また教育委員会が特に必要と認めた場合は使用時間を変更することができるとある。平成29年3月議会に上程された「太宰府市公園条例の一部を改正する条例」により使用時間の明記は条例から管理運営規則になった。当時の委員長報告は環境厚生常任委員会委員長がなされたので説明をしてほしい。

歴史と文化の環境税の使途について

1. 広報だざいふ11月号に歴史と文化の環境税を天満宮本殿の修理事業に活用したとあるが、使途目的に反しているのではないかと。
(議員から)市が決められているわけではなく、歴史と文化の環境税運営協議会で審議している。

環境事業について SDGs に見合ったものに展開すべき

1. 例えば、市内のごみでも再生の視点で循環サイクルを展開してSDGsに見合ったものにすべき。環境フェスタを再び開催すべき。

児童健診の回数を増やして発達障害児の早期発見に努めてほしい

1. 0歳1歳3歳で行われている児童健診を5歳と6歳も行い、発達障害の発見に努め、保護者の該当児童への対応につき教育を厚くし、支援員の充実に努めてほしい。ビジョントレーニングを広めてほしい。

狂犬病予防接種の充実について

1. 狂犬病予防注射の接種が徹底されていない。受診率を上げる方策として、例えばドッグランの入会条件に既接種を挙げている福岡市の例がある。市の情報発信も不十分である。

エコカレンダーの普及について

1. 内容はごみの分別やSDGsの推進の具体的な方法も提案している。市民の利用が進めば環境保護に有用と考える。

野良猫の不妊手術について

1. 野良猫の不妊手術について協力的な市民がいる一方で、保護してから実際の病院持ち込みまで手間がかかり、この点で悩んでいる方もいる。

カスハラ対策について

1. 職員を守るしくみを作る必要がある。

意見交換会の出席者について

1. 若い方の参加が少ないのでもっと周知活動をしたほうがいい。

建設経済常任委員会分科会

西鉄バス星ヶ丘線の廃線について

1. 住民の移動手段の確保に議会として、率先して急いで動いてほしい。
2. 不採算、ドライバー不足は、ここだけの問題ではない。
3. 公民館で説明をしてほしい。
4. デマンド交通の実験を早く進めてほしい。そのメリット、デメリットの説明もしっかりお願いしたい。
5. 広域での連携は考えられるのか。
6. 路線存続または代替手段の確保を。駅につながっているので死活問題。

（議員から）

市は路線存続を求めている。

デマンド交通実証実験の予算は通っているが詳細は未定。

行政界を越えての運用はあり得るのでは。

三条台へ行く道について

1. 表面の工事はしたが中が空洞でとても危険。
2. 昔はリアカーだけだったが、今は4 tトラックも通る。責任問題になるだろう。

（議員から）確認します。

景観について

1. 政庁跡の電柱が景観上じゃま。政庁跡を大切にしたい。そのような視点をもってまちの整備を進めてほしい。

住宅開発について

1. 関屋や国分寺の交差点渋滞は大丈夫か。
2. 「いつまでに、こうしたい」ということを、国分・坂本・観世あたりの住民には説明してほしい。
3. 坂本と国分の迂回路も是非検討を。

（議員から）現地視察も含めて考えたい。

市内に新駅を設置することについて

1. 西鉄の「国分駅」、JRの「太宰府駅」は、やっぱりあると良い。
2. 向佐野、坂本では人が増えている。
3. 渋滞緩和にも寄与するのでは。
4. まちの構造の偏りが是正されると期待する。

（議員から）農地、庁舎、保健環境研究所跡地のことも考えて検討したい。

ワンヘルスと観光を絡めて考えてもいいのでは

1. ドッグラン業者を介しての狂犬病予防の周知。
2. 犬カフェを通じてワンヘルスを広めるなど。
3. 共存にはルールも必要なので詰めていきたい。
4. オーバーツーリズムのごみ問題をどう考えているのか。
5. 大濠公園ではとても困っているという。
6. 川越ではゴミ箱の有料化をしたとも聞く。

（議員から）ゴミ箱についての議論も始まっている様子である。

イノシシ対策について

1. 鳥獣保護区、ハンター不足、イノシシに行政界はないなど、悩み深い現状。

意見交換会のあり方について

1. 是非、意見交換会での声を「議会だより」で伝えてほしい。
2. 意見交換会は年1回だけでいいのか？せめて時間をたっぷりとってほしい。
3. 年2回が理想である。

行政視察について

1. 神奈川県への視察に2泊は必要だったのか。2日目に2自治体の視察をしなかったことで、半日無駄にし、10万円以上余分に支出されたのではないか？

（議員から）無駄にしたということではなく、また今はオンラインも考えられるが、現地を見ることは大切。

市内体育館・公園について

1. 総合体育館の指定管理に問題がある。
2. 月に一回の点検では見落としが多く結果として修理代が多くかかっている。春日市では毎日の点検が基本契約書に挙げられている。
3. 大佐野運動公園の倉庫や、芝をはいでベースの固定など、これでいいのか？

大宰府展示館について

1. 入り口は表側でいいのではないか。
2. 入館料 200 円に値しているだろうか。市民だけでも無料でいいのでは。

観光推進コンベンションビューローの設置について

1. 年間 5,000 万円ぐらいかけてでも設置すべき。
2. 議会として観光に取り組んでほしい。

情報の公開について

1. 平成 30 年より 9 月の市広報にまほろば号の収支が出ていたが、今年はなかった。
2. 地域公共交通活性化協議会を傍聴したが、回収してもいいので傍聴者にも資料を見せてほしい。

道路・河川の整備計画について

1. 政庁跡の発展を望むが渋滞がひどい。南大門を建て、大きな駐車場を作り、天満宮まで行かなくても済むまちにしてほしい。
2. 渋滞に関してだが、県道、市道の二車線化が必要だ。国や県に市長が働き掛けないとだめだ。
3. 高雄・君畑両交差点は立体交差化も必要。
4. 御笠川の合流点は大雨が降れば越水する。河川整備計画もちゃんとやらねばいけない。

まほろば号の延伸について

1. つつじヶ丘にまほろば号が延伸された。その後の状況が知りたい。

太宰府西校区の道路改良について

1. 工事の詳しいことを地元に知らせてほしい。
2. 長浦台が抜け道になってしまっていて危ない。交通規制をかけてほしい。